

小平市地域包括ケア推進計画（素案）に係る市民意見公募の結果速報について

1 募集期間

平成 29 年 11 月 18 日から 12 月 17 日まで

2 提出方法

持参、郵送、ファクシミリ、メール

3 受付人数

3 人

4 意見件数

11 件

5 意見の内容

【地域共生社会の実現に向けて】

- ・前期にはなかった「地域共生社会」という単語が入った。地域包括ケアに障害者福祉も統合しようということなのだろう。だが、高齢者福祉と障害者福祉とでは、歴史的背景や現場のノウハウがかなり違う。「共生」ということばで強引にくっただけでは絶対にうまくいかないし、そのことで新たなリスクが生じる。その問題を市としてどう考え、どう対処しようとしているのか。

【市の現状と課題】

- ・第 6 期版の推計値と第 7 期版の実績値に食い違いがある。このことについて原因を分析し結果を今後の施策に反映させてほしい。

【地域づくり・日常生活支援】

- ・コミュニティタクシーは高齢者の移動手段として極めて有効だが、小平市の道路事情は良くないため高齢者が多い地域に通したくても通せないという現実がある。都市開発部に対し、都市計画道路、生活道路の整備を進めるように進言して頂きたい。
- ・いろいろな立場の方の居場所づくりをすすめてほしい。

【認知症施策の推進】

- ・小平市でも認知症高齢者の増加は見込まれます。多くの人々に認知症サポーターになっていただくことが急務です。他市では小学生にもわかりやすく認知症の講義をして理解を深め、広げてもらっています。ぜひ小平市でも実施をしてほしい。

【在宅医療・介護連携の推進】

- ・「住み慣れた小平でいきいきと笑顔で暮らせる」街づくりを強力に推進してほしい。住み慣れた所で生き、住み慣れた所で逝くために在宅医療をすすめ、広げてほしい。

【介護サービスの充実】

- ・デイサービスやリハビリ施設は増えてきている傾向ですが特別養護老人ホームへの入居待ちは解消できるのでしょうか。今後も待ちが増える可能性があるので解消を目指した計画をと感じてます。

【素案全体】

- ・写真、イラスト等をもっと活用する等資料の作り方を工夫し、市民が具体的な意見を言いやすくなるようにしてほしい。
- ・前回の計画書と比較してどこが変わったのか一目でわからない。従来の方針がそのまま継続する部分は、形式（色、形、表現方法など）をそのままとし、方針が変わった施策、新しい施策の部分のみ、形式を変えるようにしてほしい。

【その他】

- ・同時期に一斉に同じ福祉分野の計画素案が発表され意見が求められるが、読む側にとって大変な負担。事前に各分野に共通する上位概念の素案を発表したのち各論（高齢者、障害者、生活困窮者など）を発表することはできないものか？共通する部分の相互参照インデックスを付けてほしい。
- ・素案についての市民懇談会を行うべきだ。